

第5期雄武町総合計画後期基本計画 施策評価調書（兼政策評価基礎調書）

政策目標	2	ぬくもり・雄武	整理番号	20
基本施策	6	保健・医療の充実	評価 責任者	保健福祉課長 豊田 通敏
単位施策	3	母子保健・女性の健康支援の充実		

1 施策の概要

基本方針	妊娠・出産期や思春期・更年期等の健康の増進と、乳幼児の疾病や障がいの早期発見、さらには育児不安の軽減を図るため、母子保健や女性の健康支援の取り組みを充実します。			
現状と課題	【現状】（平成23年度末）	【現状】（平成26年度末）		
	予防接種事業の充実により、母と子の健康の増進についての不安は解消され、障がいの早期発見のための取り組みを強化しているところである。	乳幼児健診の受診率は向上しており、疾病や障がいの早期発見により早期治療や継続した支援につながっている。妊娠中、出産後の女性はさまざまな不安をもっていることから、不安払拭に向け、子育て支援センターなどの関係機関と連携した母親対象の健康講話の開催や保健師による訪問相談等の妊産婦支援の取り組みを進めている。		
	【課題】（平成23年度末）	【課題】（平成26年度末）		
	母と子の健全な発達・発育のために、疾病予防・健康増進、育児不安の解消などを強化していくことが重要であり、今後は、子育て支援センターとの連携を強化していく必要がある。	子育て支援が充実する反面で親が子どもと接する時間の減少が懸念される。子の健全な発達と発育に向け、子育て支援センター等の関係機関と連携し、親子の絆を深める事業の継続と更なる充実について進める必要がある。		

2 基本施策指標

指標1	指標名	育児不安を感じる親の割合					
	定義等	育児不安の軽減割合					
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	実績値		未調査	0%	0%	5.60%	10%
指標2	指標名	乳幼児健診の受診率平均					
	定義等	乳幼児の疾病の早期発見、発育状況の確認					
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	実績値		98.90%	97.60%	100.00%	98.50%	99.00%
指標3	指標名						
	定義等						
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	実績値						
指標4	指標名						
	定義等						
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	実績値						
指標5	指標名						
	定義等						
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	実績値						
指標6	指標名						
	定義等						
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	実績値						
指標7	指標名						
	定義等						
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	実績値						

3 単位施策を構成する事務事業の評価結果等

【貢献度の区分 A：高い B：やや高い C：やや低い D：低い E：なし】

No.	事務事業名	担当係名	26年度 決算額 (千円)	総合評価	今後の 展開方向	単位施策 への貢献 度
①	5歳児発達支援事業	保健係	45	A	継続/現状維持	A
②	予防接種事業	保健係	5,504	A	継続/現状維持	A
③	母子保健事業	保健係	3,851	A	継続/現状維持	A
④	女性の健康づくり支援事業	保健係	149	B	継続/現状維持	A
⑤	【再掲】子育て支援拠点事業	児童保育係	621	A	継続/拡充	A
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						
⑬						
⑭						
⑮						

4 施策の個別評価【A：評価が高い B：やや高い C：やや低い D：低い】

評価の視点	評価結果	理由、説明等
① 妥当性	A	産後の不安解消や児の健やかな成長等、母子保健の充実に向け、適切な事務事業の実施により支援が進められている。
② 有効性	A	母子保健充実のための事業への参加率は高く、予防接種事業についても履歴管理による未接種者への勧奨や親の相談に適宜応じる等、母子保健の充実に効果的である。
③ 効率性	A	本施策達成に向けた各事業の実施にあたっては、関係機関との連携や委託等により時間短縮と作業の軽減が図られた。
④ 公平性	A	本施策達成に向けた各事業の実施にあたっては、対象者へ広く周知を行い、公平である。
⑤ 町民意見の反映	A	子育て支援に係るアンケート調査や政策公募、「子ども・子育て会議」の中で雄武町の子育て支援について話し合いをおこない反映に努めた。

5 総合評価【A～D】

A：政策目標の達成に効果的であり、現在の施策を継続することが必要 等

B：政策目標の達成に効果的であるが、具体的な課題の解決に向けて一部取組を改善するなど、施策を充実することが必要 等

C：政策目標がほぼ達成されていることから、施策が一定の役割を終えつつあり、終期を見据えて縮減することが必要 等

D：(1)政策目標の達成に効果的であるが、事業構成が十分ではなく、新たな事業構築など取組を全体的に見直すことが必要 等

(2)政策目標の達成に向けた効果が認められないことから、施策の廃止も含めて抜本的に見直すことが必要 等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A	A	
女性の健康支援と育児支援に効果的であり、政策目標達成に向け施策の継続が必要である。	同 左	

今後の方向性

継続/現状維持	継続/現状維持	
女性のライフサイクルに応じた健康づくりを引き続き支援するとともに、子育て支援センター等の関係機関と連携し、育児不安の解消と親子の絆を深める取り組みの充実に向け引き続き進めていく。	同 左	

*今後の方向性の区分

○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○終了 ○休止 ○廃止